

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600085		
法人名	社会福祉法人 ナイスランド北方		
事業所名	グループホーム きたがた		
所在地	佐賀県武雄市北方町大字志久4531番地18		
自己評価作成日	令和3年3月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和3年3月30日	外部評価確定日	令和3年5月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>平成17年11月1日に開設し、16年目を迎えます。閑静な住宅街の中にあり、近所に住まれている、子供たちの外で遊ぶ声が、週末になると聞こえてきます。自然環境にも恵まれ、ウッドデッキから見える景色は別荘地の様で、季節の野鳥も見ることができます。グループホームにある畑には、季節の野菜作りをしており、収穫や調理・漬物作り等に参加して頂いております。野菜だけでなく中庭や畑内に植樹した、キウイフルーツやイチジクをコンポートやジャムに加工し、食事だけでなく、おやつにも季節の物を提供しています。車椅子でも移動できる散歩コースが出来てからは、野菜の様子を見ながら、散歩を楽しんで頂いており、手すりを設置した事で、安全に歩行して頂けるようになりました。新型コロナウイルス感染予防の為、例年と比べ外出頻度は激減しましたが、この散歩コースがある事で、入居者の筋力低下防止にもなっています。医療面では24時間連携がとれ早期に対応し、入院日数の減少に繋がっています。併設事業所の理学療法士にリハビリや福祉用具についても相談し、入居者の生活状況に則したケアの提供を心がけています。当ホームは5月に新しくグループホームと住宅型有料老人ホームも開設予定となっております。今後も介護の拠点として、地域社会に貢献して参りたいと思います。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>職員に「自慢するなら？」と問いかけると、殆どが自然豊かな立地環境をまず挙げた。四季折々の風情を五感で感じられる場所である。貯水池を望む東側には広いウッドデッキがあり、そこからスロープで下りれば利用者にとって若い頃から慣れ親しんだ畑がある。採れた野菜を使い、職員にも教えながら漬物作りをする利用者もある。それぞれに自分の役割がある喜びを感じてほしいとケアに努めている。またすぐ近くに母体である特別養護老人ホームや各種サービス事業所が複数あることは、緊急事態を含め、各部署の専門を活かしながら助け合える強みがある。「自分らしくほがらかに」と掲げている通り、利用者と職員が笑顔で過ごせるよう奮闘している若い管理者もおり、楽しい事業所である。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価/ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価/ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者の権利や尊厳が損なわれる事なく、自分らしくほがらかに過ごして頂く事を念頭に、理念の実現に向けてチーム一丸となって取り組んでいる。外国人留学生であるバイト生にも理念について話し、支援をする私達職員もまた、自分らしくほがらかに仕事に努めてほしいと説明している。理念については入居者と共に、日々の朝礼で唱和し、正面玄関の見える所に掲示している。	入居者の権利や尊厳が損なわれる事なく、自分らしくほがらかに過ごして頂く事を念頭に、理念の実現に向けてチーム一丸となって取り組んでいる。外国人留学生であるバイト生にも理念について話し、支援をする私達職員もまた、自分らしくほがらかに仕事に努めてほしいと説明している。理念については入居者と共に、日々の朝礼で唱和し、正面玄関の見える所に掲示している。	法人としての理念に加え、事業所独自の理念も掲げている。開設時の職員達が作り上げたもので、現在もそのままを引き継いでいる。「自分らしくほがらかに」と謳い、朝礼の唱和では利用者が加わることもある。新人研修に限らず日頃から、「自分」とは利用者であり、職員でもあることを説き、毛筆による掲示も目を引いている。リビングでの笑い声をたどれば同じワードで湧いている時がある。理念の浸透を窺わせる一コマである。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年、グループホーム湖山亭と共同でお月見会を開催していた。しかし、今年度は新型コロナウイルスの第2波を受けて開催を中止。連続で出場していたペタンクやホームに訪問してくれていた浮立も中止となり、地域との交流は激減した。唯一の外出先は、かかりつけ医への受診と、散歩に美彩の森へ出かけており、その際、ご近所の方と挨拶を交わしている。	毎年、グループホーム湖山亭と共同でお月見会を開催していた。しかし、今年度は新型コロナウイルスの第2波を受けて開催を中止。連続で出場していたペタンクやホームに訪問してくれていた浮立も中止となり、地域との交流は激減した。唯一の外出先は、かかりつけ医への受診と、散歩に美彩の森へ出かけており、その際、ご近所の方と挨拶を交わしている。	事業所の建つ地区には同法人の施設が複数ある。隣接した施設もあれば、すぐ近くに母体の特別養護老人ホームもある。地域の細かい情報等は運営推進会議や母体経由で寄せられている。地域に暮らす一員として草刈り等の清掃作業には必ず参加をし、別途(3月~12月)、周辺のごみ拾いも行っている。これは法人全体の取組みで長く続くボランティアである。地域に根差した法人、事業所であり、見守り等を頼める関係は出来ている。高齢化社会を迎えるにあたり、地域住民にとっても拠り所である。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人取組みの一環として、介護予防教室を開催。ボランティア交流会において認知症、グループホームについて説明を行い理解を深めて頂くよう取り組んできた。今年度はコロナ感染予防の為、開催が出来ず新たな取り組みについて検討中である。	法人取組みの一環として、介護予防教室を開催。ボランティア交流会において認知症、グループホームについて説明を行い理解を深めて頂くよう取り組んできた。今年度はコロナ感染予防の為、開催が出来ず新たな取り組みについて検討中である。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の2ヶ月の全体的な動きなどを報告し、それに対する意見や避難訓練への助言、取り組みや地元の情報など情報交換の場となっている。新型コロナウイルスについて感染症の取り組みや情報なども意見や助言をして頂いており、サービスに活かしている。	入居者の2ヶ月の全体的な動きなどを報告し、それに対する意見や避難訓練への助言、取り組みや地元の情報など情報交換の場となっている。新型コロナウイルスについて感染症の取り組みや情報なども意見や助言をして頂いており、サービスに活かしている。	約一時間の会議である。行政側は代理でも出席者を出し、地区役員や家族も参加している。コロナ禍のため一堂に会するのは2回に一度としている。事業所からの報告のみで終始することなく双方向な意見交換の場である。利用者の楽しみであったカラオケを、用心のため自粛したのはメンバーからの助言がきっかけだった。最近のクラスター発生報道を見るにつけ、事業所では早めに判断できたことを感謝している。メンバー同士が顔見知りとなり相談し合う場面もみられ、また外部の人の目が入る貴重な機会として活かせるよう努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃より市や地域包括センターとは連携を図り、空床の情報提供や相談、報告が出来る関係を構築している。今年度に入ってから、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として相談員の定期訪問は行われていないが、施設内の見学が直に出来なくなった分、写真でも分かるよう、施設広告を増やし、間接的であっても、施設内を見て頂けるよう工夫をしている。	日頃より市や地域包括センターとは連携を図り、空床の情報提供や相談、報告が出来る関係を構築している。今年度に入ってから、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として相談員の定期訪問は行われていないが、施設内の見学が直に出来なくなった分、写真でも分かるよう、施設広告を増やし、間接的であっても、施設内を見て頂けるよう工夫をしている。	行政側とは運営推進会議のメンバーでもあることから顔なじみである。毎月更新される空室状況は行政側にも通知しており、担当者に異動があれば母体を通し連絡も入る。大きな法人のため内部で解決できるだけの人材やスキルもあるが、敢えて電話ではなく出向くことも多い。顔を見て話すことは互いの信頼や協働関係を築くことにも役立っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	行政指導や見解、制度について勉強会を行い、仮に生命の危険上拘束せざるを得ない状況になったとしても、専門家として、入居者の生命と尊厳の両立を最大限実現できるよう配慮している。玄関の施錠は旧特別養護老人ホーム杏花苑の解体や新湖山亭開設に向け大型トラックの往来があり、また入居者の現状を考慮しつつ、職員と家族と十分な協議を行い、柔軟に対応している。	行政指導や見解、制度について勉強会を行い、仮に生命の危険上拘束せざるを得ない状況になったとしても、専門家として、入居者の生命と尊厳の両立を最大限実現できるよう配慮している。玄関の施錠は旧特別養護老人ホーム杏花苑の解体や新湖山亭開設に向け大型トラックの往来があり、また入居者の現状を考慮しつつ、職員と家族と十分な協議を行い、柔軟に対応している。	法人内では年2回の研修があり、職員は身体拘束の内容とその弊害も理解している。止むを得ず実施する場合、改めて家族への説明と、拘束を止めるための工夫や方法を話し合うことになっている。通常、玄関に施錠はなく、出入りにはチャイムが反応しているが、利用者の行動を抑えるものではない。職員には利用者の人数を数える習慣もあり、目配りや気配りによって安全な暮らしが支援されている。仮に不適切な場面を見かけた時は、まず理由を尋ね、本人に考えさせ、全体の事として提起するとなっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や研修を経て人権を常に意識し、高齢者虐待防止法について話し合う機会を設けている。虐待が見過ごされる事がないよう注意を払い、防止に努めている。職員のメンタルヘルスにも力を入れ相談しやすい環境作りを行っている。	勉強会や研修を経て人権を常に意識し、高齢者虐待防止法について話し合う機会を設けている。虐待が見過ごされる事がないよう注意を払い、防止に努めている。職員のメンタルヘルスにも力を入れ相談しやすい環境作りを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は「権利擁護」について法人の勉強会や外部研修で学んだ事をホームで共有している。又、グループホーム内での勉強会を職員で行い、意識付けを行っている。	管理者や職員は「権利擁護」について法人の勉強会や外部研修で学んだ事をホームで共有している。又、グループホーム内での勉強会を職員で行い、意識付けを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は文書に沿って説明を行い不安や疑問点に対して十分な説明に努め、理解と納得を得た上で行っている。解約は本人や家族が困らないように今後の事を十分に話し合い納得を得ている。	契約時は文書に沿って説明を行い不安や疑問点に対して十分な説明に努め、理解と納得を得た上で行っている。解約は本人や家族が困らないように今後の事を十分に話し合い納得を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員並びに外部者へ表せる機会を設 け、それらを運営に反映させている	入居者との普段の会話の中から意見や 要望を聞く機会が多く、要望により外食 や外出に出かけていた。新型コロナ流 行後は外泊、外出の機会も激減した が、ホーム内の行事を増やし、家族に 毎月のお便り内で行事や日頃の様子 の写真を送付している。面会時やサー ビス担当者会議の時に、意見や要望を 聞き運営に反映出来るように努めてい る。第三者窓口についてホーム内に提 示し、苦情受付箱を設置している。	入居者との普段の会話の中から意見 や要望を聞く機会が多く、要望により 外食や外出に出かけていた。新型コ ロナ流行後は外泊、外出の機会も激 減したが、ホーム内の行事を増やし、 家族に毎月のお便り内で行事や日頃 の様子を写真を送付している。面会 時やサービス担当者会議の時に、意 見や要望を聞き運営に反映出来るよ うに努めている。第三者窓口について ホーム内に提示し、苦情受付箱を設 置している。	これまで家族の来所は多かつ た。職員は直に話が出る機会 を大切に、世間話などを交え ながら気軽に何でも話してもら えるよう努めていた。家族の声 に耳を傾けているという自負も ある。しかし、コロナ禍の今、ガ ラス越し面会も規制中である。 会えないことで不安になる利用 者を危惧し、心のケアにも配慮 しながら家族の想いも汲み取る よう努めている。毎月の請求 書にホーム便りや個別のメッ セージを同封し近況を知らせて はいるが十分だとは考えていな い。今回の家族アンケートにも 意見が寄せられており、答えを 返していこうとしている。前向き に活かす姿勢や体制が窺える。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の 意見や提案を聞く機会を設け、反映させ ている	毎月のグループホーム会議で自由に意 見を出せる雰囲気作りを行っており、職 員からも意見や提案がある。管理者は その内容を検討して可能な限り、意見 や提案を運営に反映させるようにして いる。代表者は定期的に個人面談を実 施し、意見については集約後、改善に向 け取り組んでいる。	毎月のグループホーム会議で自由に 意見を出せる雰囲気作りを行っており 、職員からも意見や提案がある。管 理者はその内容を検討して可能な限 り、意見や提案を運営に反映させるよ うにしている。代表者は定期的に個人 面談を実施し、意見については集約 後、改善に向け取り組んでいる。	毎月の職員会議は2ユニット合 同で行い、休みの職員も出来る だけ出席している。司会と書記 を交代制にすることで意識の変 化やスキルアップにも期待して いる。限られた時間は会議5項 目の流れに沿って進められ、そ の中には年間計画で決めた勉 強会も入っている。諮ってほしい 案件を出す項目もあり、自由な 発言を求めている。カンファレ ンスはユニット毎に行うのが通例 で、別途、時間を設けている。管 理者としては働きやすい職場と なるよう配慮も必要で、定時で の終業はもとより、休暇取得は 本人も声に出して周囲に伝える ことを推奨している。日頃から職 員とコミュニケーションを図り、 現場の声に耳を傾けており、意 見等は法人上席へも届けている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回、自己評価と目標管理シートを全職員に提出させており、個人面談も行っている。それを管理者が評価し賞与や定期昇給に反映させ、各自は向上心を持って働けるよう努めている。又、代表者は個々の作文を通じて就業環境を把握し改善に生かしている。	年2回、自己評価と目標管理シートを全職員に提出させており、個人面談も行っている。それを管理者が評価し賞与や定期昇給に反映させ、各自は向上心を持って働けるよう努めている。又、代表者は個々の作文を通じて就業環境を把握し改善に生かしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修では、個々に勉強会を担当してもらい、責任を持って勉強し、資料の作成をしてもらう。インプットだけでなくアウトプットすることで、一緒に働く職員の知識の向上を目指している。	内部研修では、個々に勉強会を担当してもらい、責任を持って勉強し、資料の作成をもらう。インプットだけでなくアウトプットすることで、一緒に働く職員の知識の向上を目指している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	佐賀県グループホーム協会に所属し、職員を研修などに積極的に参加させ、情報交換を行ったり、ホームの行事に参加してもらうなど交流を深め、サービスの質の向上に努めている。	佐賀県グループホーム協会に所属し、職員を研修などに積極的に参加させ、情報交換を行ったり、ホームの行事に参加してもらうなど交流を深め、サービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	これまでの生活や性格を考慮し、寄り添い、本人の困っていること、不安なこと、要望などに耳を傾け、安心して過ごしてもらえるよう関係作りに努めている。聴いた事は職員に伝え情報を共有し信頼関係の構築に努めている。	これまでの生活や性格を考慮し、寄り添い、本人の困っていること、不安なこと、要望などに耳を傾け、安心して過ごしてもらえるよう関係作りに努めている。聴いた事は職員に伝え情報を共有し信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	職員は、ホーム見学の際や、入居申し込みの際に、困っている事、不安な事、要望等に耳を傾け、家族の抱える思いを十分に受け止め、円滑なサービスの利用が出来るよう信頼関係の構築に努めている。	職員は、ホーム見学の際や、入居申し込みの際に、困っている事、不安な事、要望等に耳を傾け、家族の抱える思いを十分に受け止め、円滑なサービスの利用が出来るよう信頼関係の構築に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の抱えておられる問題について、十分に聞き取りを行い、適切なサービスに繋げている。必要に応じて、在宅サービスなどを提供したり、紹介したりしている。	本人や家族の抱えておられる問題について、十分に聞き取りを行い、適切なサービスに繋げている。必要に応じて、在宅サービスなどを提供したり、紹介したりしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の体験談や会話の中から学ぶ所は学び、その方の得意とする分野の力を発揮してもらう事により自信を持って生活出来るように支援している。又、分からないところは入居者に尋ねながら行うようにしている。	入居者の体験談や会話の中から学ぶ所は学び、その方の得意とする分野の力を発揮してもらう事により自信を持って生活出来るように支援している。又、分からないところは入居者に尋ねながら行うようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に入居者の状況を報告し要望などを伝え理解して頂き、職員と家族がお互いに協力する事で本人を支えていく関係を築いている。また、互いが言われた事や思いも伝え、本人と家族との絆を大切にした支援が出来ている。	定期的に入居者の状況を報告し要望などを伝え理解して頂き、職員と家族がお互いに協力する事で本人を支えていく関係を築いている。また、互いが言われた事や思いも伝え、本人と家族との絆を大切にした支援が出来ている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望により、馴染みの美容室へ散髪に行ったり買い物や病院受診時に、馴染みの方との関わりを大切にしていた。新型コロナウイルスの感染予防対策のために、外出が減少している。主治医へは往診を依頼。往診へ変更ができなかった病院へは定期的に受診を行い、関係の維持が出来ている。	本人の希望により、馴染みの美容室へ散髪に行ったり買い物や病院受診時に、馴染みの方との関わりを大切にしていた。新型コロナウイルスの感染予防対策のために、外出が減少している。主治医へは往診を依頼。往診へ変更ができなかった病院へは定期的に受診を行い、関係の維持が出来ている。	入居までの人間関係の把握には、本人や家族、担当のケアマネージャー、また利用していたサービス事業所や病院等からも話を聞き情報を集めている。それらを基に具体的な支援を行って来たが、コロナ禍では自粛の日々である。盆正月の帰宅(宿泊もあり)や法事への出席、墓参り等々、当たり前の事として支援され、家族と馴染みの美容院へ出掛ける利用者もあつた。今はまだ先行きが不透明だが、出来る事をひとつひとつ支援しながら、関係が途切れないよう努めている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やお茶の時など、入居者それぞれが誘い合い、お互いに支え合える関係性の構築が出来ている。入居者の関係を把握した上で、ソファやテーブルの座り位置を変え、人間関係が円滑に行くよう環境作りに努めている。	食事やお茶の時など、入居者それぞれが誘い合い、お互いに支え合える関係性の構築が出来ている。入居者の関係を把握した上で、ソファやテーブルの座り位置を変え、人間関係が円滑に行くよう環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても、面会や様子を伺い、これまでの関係性を大切にしている。また、必要に応じて本人・家族へのサポート支援を行っている。当老人ホームに移られた方には、定期的に面会に行っている。	利用が終了しても、面会や様子を伺い、これまでの関係性を大切にしている。また、必要に応じて本人・家族へのサポート支援を行っている。当老人ホームに移られた方には、定期的に面会に行っている。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のコミュニケーションを大切にし、その方の思いや意向を聞かせて頂き、表情やしぐさ行動などから発せられるサインも見逃さないよう把握に努めている。困難な場合は、家族に協力を依頼し、できるだけ本人本位になるよう努めている。	日々のコミュニケーションを大切にし、その方の思いや意向を聞かせて頂き、表情やしぐさ行動などから発せられるサインも見逃さないよう把握に努めている。困難な場合は、家族に協力を依頼し、できるだけ本人本位になるよう努めている。	リーダー会議からの発案で一日の業務の中に利用者とのコミュニケーション時間を設けている。敢えてこの時間を設定したのは職員への意識付けもある。他の業務の手を一旦止めて話し相手をする事は、ケアの基本であると示唆している。スキンシップを交え、いくつかの選択肢を示す問い掛け方や、居室で一对一で話し相手をする際には想いを話してくれる事が多い。また発語の少ない利用者であっても仕草や様子から把握できるという。聞き取った事は新鮮なうちに口頭で伝え合い共有している。そこからケアプランに反映させた例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や環境、馴染みの暮らし方やサービス利用の経緯をフェイスシートに記録し、チームで共有できるようにしている。使用されていた家具やテレビなどを居室に配置し、馴染まれた環境の中で生活していただけるよう家族に依頼している。	生活歴や環境、馴染みの暮らし方やサービス利用の経緯をフェイスシートに記録し、チームで共有できるようにしている。使用されていた家具やテレビなどを居室に配置し、馴染まれた環境の中で生活していただけるよう家族に依頼している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別のケースに一日の過ごし方、心身状態や有する力などを記入し、出勤時に必ず目を通し現状の把握を務めている。状態変化時は、申し送りノートや朝礼でも報告し、情報を共有しケアに繋げている。プランの実行中も介護経過記録や日々の記録を参考に現状の把握に努めている。	個別のケースに一日の過ごし方、心身状態や有する力などを記入し、出勤時に必ず目を通し現状の把握を務めている。状態変化時は、申し送りノートや朝礼でも報告し、情報を共有しケアに繋げている。プランの実行中も介護経過記録や日々の記録を参考に現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	1ヶ月ごとにモニタリングを実施し、状態変化時は、随時個別のカンファレンスを行い、集約後、現状に即した介護計画に活かしている。本人や家族に対する意向や要望を大切に、スタッフ・訪問看護師・主治医の意見を踏まえ、サービス担当者会議を開催している。	1ヶ月ごとにモニタリングを実施し状態変化時は、随時個別のカンファレンスを行い集約後、現状に即した介護計画に活かしている。本人や家族に対する意向や要望を大切に、スタッフ・訪問看護師・主治医の意見を踏まえ、サービス担当者会議を開催している。	入居して間もない時期は毎月の見直しを行い、その後は様子を見ながら3か月毎、6か月毎と延ばしている。その間に変化があれば臨機応変な対応である。本人の希望は日々のケアの中で把握し、家族の希望等は日頃の会話の中からワードを拾っており、立案前には話をするようにしている。家族からは外出の希望が多いが、コロナ禍を踏まえ出来る範囲で応えている。ケアプランの実施状況が分かる記録簿もあり、毎月のモニタリングはケアマネージャーが職員の声聞きながら行っている。今回の家族アンケートでは殆どの家族が「分かりやすく説明を受け、一緒に話し合っている」と答えている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の日々の様子やケアプランに基づく実践や気づき、受診時の主治医の指示をケース記録、介護経過記録、申し送りノートに記入し、全職員が入居者の現状を共有している。又、情報を踏まえて意見を出し合いモニタリングを実施し、ケアプランの見直しに活かしている。	入居者の日々の様子やケアプランに基づく実践や気づき、受診時の主治医の指示をケース記録、介護経過記録、申し送りノートに記入し、全職員が入居者の現状を共有している。又、情報を踏まえて意見を出し合いモニタリングを実施し、ケアプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況、その時々ニーズに対応する為、双方で十分な話し合いを行い、意向に添った柔軟な支援、サービスに取り組んでいる。入居者の状態の変化は家族の要望などに応じて、主治医との連携をとり、受診などの対応をしている。	本人や家族の状況、その時々ニーズに対応する為、双方で十分な話し合いを行い、意向に添った柔軟な支援、サービスに取り組んでいる。入居者の状態の変化は家族の要望などに応じて、主治医との連携をとり、受診などの対応をしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA（うぐいす） （事業所記入欄）	自己評価／ユニットB（ひばり） （事業所記入欄）	外部評価 （評価機関記入欄）	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの受け入れをしており、傾聴や年末の大掃除などに協力して下さっていた。今年度は感染予防対策として外部との接触を中止した。ボランティアとの交流はなかったが、外国人留学生が毎日アルバイトに来ており、佐賀弁を教えるなど、交流を楽しまれている。	地域ボランティアの受け入れをしており、傾聴や年末の大掃除などに協力して下さっていた。今年度は感染予防対策として外部との接触を中止したが、外国人留学生が毎日アルバイトに来ており、佐賀弁を教えるなど、交流を楽しまれている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は本人や家族の希望を大切に、安心して医療が受けられるよう、かかりつけ医を継続してもらっている。基本的に受診は家族対応だが、今年度は新型コロナウイルス感染予防策として面会を中止したため、受診については職員が同行している。医療機関との情報交換はもとより、適切な医療が受けられるように、訪問看護師に医療面からの情報提供書を作成してもらい、円滑な受診に繋がっている。	受診は本人や家族の希望を大切に、安心して医療が受けられるよう、かかりつけ医を継続してもらっている。基本的に受診は家族対応だが、今年度は新型コロナウイルス感染予防策として面会を中止したため、受診については職員が同行している。医療機関との情報交換はもとより、適切な医療が受けられるように、訪問看護師に医療面からの情報提供書を作成してもらい、円滑な受診に繋がっている。	利用者の約半数は元々協力医の患者だった方である。入居後に医療面の説明を聞き、納得してかかりつけ医を協力医へ変更した方、昔からの馴染みの医師の元へ通う方など様々である。本人や家族の想いを大切に支援している。事業所では訪問診療も可能だが、協力医に限らず、どのかかりつけ医でも受け入れている。また24時間体制の訪問看護ステーションと契約があることも心強い。現在、受診には職員が同行しているが、家族への結果報告は当日に行われ、合わせて訪問看護ステーションとも共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師と契約しており、24時間連絡可能な体制になっている。介護職員は、入居者の健康状態の把握に努め、状態が悪化した場合は訪問看護師に報告・相談し、主治医との連携をとりながら、適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師と契約しており、24時間連絡可能な体制になっている。介護職員は、入居者の健康状態の把握に努め、状態が悪化した場合は訪問看護師に報告・相談し、主治医との連携をとりながら、適切な受診や看護を受けられるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は、入院前の病状やADLを説明し情報提供を行っている。また、家族との連携を密に行い、早期退院に向け、病院関係者との情報交換や相談に努め、定期的に容体訪問も行っている。入居者が安心して治療が受けられるように、病院関係者との関係づくりに努めている。	入院の際は、入院前の病状やADLを説明し情報提供を行っている。また、家族との連携を密に行い、早期退院に向け、病院関係者との情報交換や相談に努め、定期的に容体訪問も行っている。入居者が安心して治療が受けられるように、病院関係者との関係づくりに努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、重度化した場合における対応や看取りにかかわる指針を説明している。又、家族からの重度化した場合の不安など相談を受けた際は、話し合いの場を設けている。重度化した場合は、本人と家族の希望を尊重し、できることを十分に説明しながら方針を共有し、医療と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に、重度化した場合における対応や看取りにかかわる指針を説明している。又、家族からの重度化した場合の不安など相談を受けた際は、話し合いの場を設けている。重度化した場合は、本人と家族の希望を尊重し、できることを十分に説明しながら方針を共有し、医療と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時に指針の説明を行っている。これまでに看取りの経験がないのは、すぐ近くの同法人特別養護老人ホームがその選択肢のひとつとなっているからである。今後も家族等の希望があれば看取りを検討する考えはある。そのためには、まず職員のリフォローが重要であり、勉強会等が組み込まれる予定である。容態の変化に伴い家族との話し合いは何度でも重ねられ、安心して納得した最期を迎えられるよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人にて、毎年消防署からの指導による救急蘇生法やAEDの使用方法、急変時の対応について勉強会が開催されており、勉強会に参加することで、実践力を身に付けている。急変時の対応については、マニュアルを作成し、スタッフルームに掲示している。	法人にて、毎年消防署からの指導による救急蘇生法やAEDの使用方法、急変時の対応について勉強会が開催されており、勉強会に参加することで、実践力を身に付けている。急変時の対応については、マニュアルを作成し、スタッフルームに掲示している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、昼間と夜間に避難訓練を行っており、行政や近隣住民の方々に協力いただき、地域と一体になった避難訓練を実施している。スピーカーを設置し、非常時には近隣住民にも知らせるようになってきている。施設内の同法人施設は、市の福祉避難所にも指定されており、非常食なども備蓄している。近年、水害や台風・豪雪で職員が寝泊りする事例も出ている為その都度反省会を通して災害時の対策を話し合っている。	年2回、昼間と夜間に避難訓練を行っており、行政や近隣住民の方々に協力いただき、地域と一体になった避難訓練を実施している。スピーカーを設置し、非常時には近隣住民にも知らせるようになってきている。施設内の同法人施設は、市の福祉避難所にも指定されており、非常食なども備蓄している。近年、水害や台風・豪雪で職員が寝泊りする事例も出ている為その都度反省会を通して災害時の対策を話し合っている。	年2回の避難訓練では消防署が立ち会い、実際の夜間(19時～20時)にも行っている。夜間では地元消防団の参加協力もある。周辺の同法人合同の訓練は利用者も一緒に避難を体験し、近隣住民も協力している。屋外への誘導は職員が行い、出た先での見守りケアを消防団や住民に依頼する手順も確認している。職員は消火器等の使用方法も承知しており、スプリンクラーや誘導灯などの防災設備もある。福祉避難所指定の特別養護老人ホームは非常食等の備蓄(事業所独自でも備蓄)をしており、事業所が災害元の場合には避難先でもある。訓練後にはその場で課題や気付き等の指摘があり、改善策も周知されている。近年、自然災害も多発し、マニュアルを追加しつつ備えている。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者に接する際は、目上の方への敬意を持ち、その方の人生背景や性格を考慮し、入居者と職員の距離感に気をつけながら、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心がけている。	入居者に接する際は、目上の方への敬意を持ち、その方の人生背景や性格を考慮し、入居者と職員の距離感に気をつけながら、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心がけている。	入居時の聞き取りの中には同性によるケア希望等も含まれ、羞恥心への配慮が窺える。トイレや入浴の介助では特に注意を払っている。ドアはきちんと閉め、必ずノック、また誘導の声掛けは小声でという基本を守りつつ、その場に応じたケアで支援している。また、ホーム便り等での写真や名前の公開も入居時の承諾と、その後暫く経ってから再確認を行っている。接遇の研修があり、職員の個人情報取り扱いに対する意識も高い。	
----	------	---	--	--	---	--

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの人生背景や性格を考慮し、自然に希望や思いの表出ができるよう雰囲気作りに努めている。また、コミュニケーションを通して自己決定ができるように働きかけている。	一人ひとりの人生背景や性格を考慮し、自然に希望や思いの表出ができるよう雰囲気作りに努めている。また、コミュニケーションを通して自己決定ができるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は業務を優先するのではなく、一人一人の生活スタイルや一人になる時間作りを大事にした支援を心がけている。	職員は業務を優先するのではなく、一人一人の生活スタイルや一人になる時間作りを大事にした支援を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望により行きつけの美容院に行ったり、愛用の化粧品が無くなった場合は、家族に連絡し持ってきていただいている。また、定期的に訪問理容に散髪して頂いていおり、外出の自粛に伴い希望者のみ染髪も依頼をしている。	本人の希望により行きつけの美容院に行ったり、愛用の化粧品が無くなった場合は、家族に連絡し持ってきていただいている。また、定期的に訪問理容に散髪して頂いていおり、外出の自粛に伴い希望者のみ染髪も依頼をしている。男性の入居者様は毎日髭そりをし、身だしなみを整えている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA（うぐいす） （事業所記入欄）	自己評価／ユニットB（ひばり） （事業所記入欄）	外部評価 （評価機関記入欄）	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日には、希望を聞き、好きな料理やお好きなおやつ。行事には特別メニューを用意している。食事形態は咀嚼力や嚥下状態について主治医や訪問看護師へ相談し、刻み食やトロミ剤を使用するなど、状態に合わせた支援ができています。台所仕事がお好きな方には、食器洗浄やお盆拭き、つぎ分けなどを職員と一緒に楽しんでできるように支援している。畑の野菜を収穫し、入居者と共に調理している。	誕生日には、希望を聞き、好きな料理やお好きなおやつ。行事には特別メニューを用意している。食事形態は咀嚼力や嚥下状態について主治医や訪問看護師へ相談し、刻み食やトロミ剤を使用するなど、状態に合わせた支援ができています。台所仕事がお好きな方には、食器洗浄やお盆拭き、つぎ分けなどを職員と一緒に楽しんでできるように支援している。畑の野菜を収穫し、入居者と共に調理している。	食材配達業者と契約し、所属の管理栄養士が献立も考えている。正月や誕生日などは特別メニューとなり職員が対応している。好き嫌いやアレルギー有無の把握は出来ており、事前に献立をチェックすることで代替え依頼をしている。なかなか箸が進まない利用者には声掛けて促し、食が細くなれば栄養補助食品の検討も行っている。箸とコップは各自が用意し、すくい易く工夫された食器も利用している。介助は最小限に止め、出来るだけ自分で口へ運んでもらえるよう支援している。準備や片付けを手伝える利用者は約半数おり、得意な漬物作りがやり甲斐や喜びに繋がっているケースもある。職員は利用者と同じものを食べながら間隔を空けて座り、介助には動きやすい位置にいる。誕生日は当日に祝い、本人のリクエストによる特別メニューやケーキも用意されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態や力に合わせた食事を提供している。アルブミン値が低い方には栄養補助食品で補っている。水分量の少ない方には、促しだけでなく、好きな飲み物を提供し、運動やお手伝いの後など、小まめに摂取して頂いている。食事や水分量は毎日記録し管理している。	個々の状態や力に合わせた食事を提供している。アルブミン値が低い方には栄養補助食品で補っている。水分量の少ない方には、促しだけでなく、好きな飲み物を提供し、運動やお手伝いの後など、小まめに摂取して頂いている。食事や水分量は毎日記録し管理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯や自歯の洗浄をして頂き磨き残しは一部介助を行い、誤嚥性肺炎予防や清潔保持が出来ている。歯肉炎になりやすい方については、医師が薦める歯ブラシを使用し、アドバイスを受け介助を行っている。必要に応じ、訪問歯科を利用し、口腔の管理に努めている。	毎食後、義歯や自歯の洗浄をして頂き磨き残しは一部介助を行い、誤嚥性肺炎予防や清潔保持が出来ている。歯肉炎になりやすい方については、医師が薦める歯ブラシを使用し、アドバイスを受け介助を行っている。必要に応じ、訪問歯科を利用し、口腔の管理に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンの把握に努め、下剤の調整を行っている。また、不安の軽減のため排泄用品の選定、言葉かけや定時のトイレ案内を行い、排泄の失敗の軽減に努めている。一人一人にあったリハビリパンツやパット・フラットを活用し不安の軽減に努めている。また、排泄に失敗された場合は羞恥心に配慮し、さりげない介助を心がけている。	個々の排泄パターンの把握に努め、下剤の調整を行っている。また、不安の軽減のため排泄用品の選定、言葉かけや定時のトイレ案内を行い、排泄の失敗の軽減に努めている。一人一人にあったリハビリパンツやパット・フラットを活用し不安の軽減に努めている。また、排泄に失敗された場合は羞恥心に配慮し、さりげない介助を心がけている。	排泄に関して自立した利用者もいるが、任せたままでなく、さりげなく見守っている。日中はトイレでの排泄が主であり、チェック表からの把握でトイレ誘導のタイミングも図っている。入居後に失敗が減り、使用する排泄用品に改善がみられた例もある。またパット種類の変更や組み合わせを試しながら利用者に向合う使い勝手で支援している。トイレ内は車椅子利用でも十分な広さがあり、手摺りは自立の補助具として役立っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	畑で穫れた野菜の提供。小まめな水分補給の他に、乳製品や食物繊維などの食品を取り入れ、予防に努めている。毎日数回リハビリ体操や散歩で体を動かしている。	畑で穫れた野菜の提供。小まめな水分補給の他に、ヨーグルトや食物繊維などの食品を取り入れ、予防に努めている。毎日数回リハビリ体操や散歩で体を動かしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個浴で入浴されており、時には仲のいい入居者同士で入られたり、ゆず湯などで季節を感じて頂いている。リスクのある方は安全面を考慮し、浴室用車いすや設置式リフトなど、福祉用具を使用している。入浴をお断りされる方には無理強いせず、別日に対応したり、清拭や足浴などを行い、気持ちを切り替えて頂いている。	個浴で入浴されており、時には仲のいい入居者同士で入られたり、ゆず湯などで季節を感じて頂いている。リスクのある方は安全面を考慮し、浴室用車いすや設置式リフトなど、福祉用具を使用している。入浴をお断りされる方には無理強いせず、別日に対応したり、清拭や足浴などを行い、気持ちを切り替えて頂いている。	入浴は週2回を目安にしている。希望があれば毎日でも可能であり、時間帯は午後からである。浴室からの眺めは露天風呂の趣きがあり、個浴または仲の良い方同士で寛いでいる。浴槽を角に寄せていない事で両脇からの介助もしやすく、ヒートショック対策では浴室内にエアコンの設置がある。入浴しない日でも下着肌着の交換は行き、清潔保持に努めている。衣服の脱ぎ着は出来るだけ本人に任せ見守っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室や談話コーナーで寛いだり、午睡を促し適度な休息時間を設けている。夜はテレビを視聴され、従来の生活時間を変えず生活されている。室温調整を随時行い、愛用品の寝具で眠られている。不眠時はホットミルク提供し傾聴を行うことで安心感を得られるように支援している。	居室や談話コーナーで寛いだり、午睡を促し適度な休息時間を設けている。夜はテレビを視聴され、従来の生活時間を変えず生活されている。室温調整を随時行い、愛用品の寝具で眠られている。不眠時はホットミルク提供し傾聴を行うことで安心感を得られるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別のケースに最新の薬情を入れ内容に変更があった時は申し送りに記入し症状の変化にも十分に注意している。薬は個々の袋に入れ、誤薬防止のため4回の確認を行い、服薬の際は名前と日付けを声に出し確認うえ服薬してもらっている。	個別のケースに最新の薬情を入れ内容に変更があった時は申し送りに記入し症状の変化にも十分に注意している。薬は個々の袋に入れ、誤薬防止のため4回の確認を行い、服薬の際は名前と日付けを声に出し確認うえ服薬してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	衣類の補正や雑巾縫い、洗濯物たたみや生活空間の掃除、調理に参加して頂き、パズルや計算などの脳トレや色塗りなど一人一人の生活歴や力を活かし、生きがいや喜びのある毎日を過ごしていただけるよう支援している。行事の際には食事やおやつの要望を聞きながら計画を立て実施している。	衣類の補正や雑巾縫い、洗濯物たたみや生活空間の掃除、調理に参加して頂き、パズルや計算などの脳トレや色塗りなど一人一人の生活歴や力を活かし、生きがいや喜びのある毎日を過ごしていただけるよう支援している。行事の際には食事やおやつの要望を聞きながら計画を立て実施している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	畑に車いすでも通れる散歩コースがあり、自由に行き来されている。新型コロナが流行してからは外出を控えているが、理事長が管理されている美彩の森におやつを持って出かけたり、当ホームのゴミ捨て場まで外国人留学生と共に一緒に歩いて会話を楽しんで頂いたり、自由な生活ができなくなった中でストレスを溜めないように努めている。	畑に車いすでも通れる散歩コースがあり、自由に行き来されている。新型コロナが流行してからは外出を控えているが、理事長が管理されている美彩の森におやつを持って出かけたり、当ホームのゴミ捨て場まで外国人留学生と共に一緒に歩いて会話を楽しんで頂いたり、自由な生活ができなくなった中でストレスを溜めないように努めている。	コロナ禍ではこれまでに経験した事のない日常を過ごしている。通常であれば花見やドライブ、家族との外食もあった。職員は今できる事を考え支援している。外出の代わりに室内レクリエーションの充実もひとつのアイデアである。東側のウッドデッキからはスロープで畑に下りられ、その畑周りはコンクリート道で、歩いても車椅子でも都合がよい。鉄パイプの柵は手摺り代わりとなり、野菜のでき具合をみたり、野鳥の声を聞きながら周りの自然を眺めている。すぐ近くには美彩の森と名付けられた自然豊かな散策コースもあり、室内ばかりの生活ではない。全く外へ出ないという利用者はいない。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族に相談の上、自己管理できる方はお金を所持されており、苑外活動や病院受診時の支払いなどご自分でされる。定期的に行きつけの美容院にカットや毛染にいかれ、有効にお金を使われている。現在は外出が自由ではない為、必要なものは職員がお金を預り、依頼されたものを購入している。	家族に相談の上、自己管理できる方はお金を所持されており、苑外活動や病院受診時の支払いなどご自分でされる。定期的に行きつけの美容院にカットや毛染にいかれ、有効にお金を使われている。現在は外出が自由ではない為、必要なものは職員がお金を預り、依頼されたものを購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を所持しておられる方もおられ、友人や家族に自分が好きな時に連絡を取られている。充電を忘れがちである為、言葉かけし電話中に切れることが無いよう気を配っている。年賀状や毎月のお便りに直筆のメッセージを記入されている。	携帯電話を所持しておられる方もおられ、友人や家族に自分が好きな時に連絡を取られている。充電を忘れがちである為、言葉かけし電話中に切れることが無いよう気を配っている。年賀状や毎月のお便りに直筆のメッセージを記入されている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	干支の絵や毎月の行事ごとの張り絵や写真を掲示し季節感を大切にしたい設えを心がけている。温度や湿度・照明などの調整をこまめに行い、職員も環境の一部である事を意識付けし、居心地のいい環境作りに努めている。	干支の絵や毎月の行事ごとの張り絵や写真を掲示し季節感を大切にしたい設えを心がけている。温度や湿度・照明などの調整をこまめに行い、職員も環境の一部である事を意識付けし、居心地のいい環境作りに努めている。	リビングの天井は高く、敢えて梁を見せた設えである。一角の畳の間や、その先に続く居室の扉は全てデザイン違いの引き戸になっており、全体的に和風の趣きである。利用者の動線上に行動を妨げる物はなく、安心して自由に暮らせる空間である。利用者達が作った四季を感じる壁紙は、職員が是非見てほしいと答えたものである。自然豊かな住宅地に建ち騒音は全くない。差し込む光はレースカーテンで調節されている。時間を決めて行う換気や、利用者が手を触れる箇所の消毒も通常より注意を払い、こまめに行っている。居室も同様である。掃除は職員が行うが、出来る事を手伝う利用者もある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(うぐいす) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(ひばり) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせる ような居場所の工夫をしている	玄関やウッドデッキのベンチ、談話コー ナーのソファで独りで過ごしたり、気 の合う仲間同士でソファに座りテレビ 体操や家族の話をしたり、時にニュース の話題に興じるなどにぎやかな時間を お過ごしになられている。	玄関やウッドデッキのベンチ、談話 コーナーのソファで独りで過ごしたり、 気の合う仲間同士でソファに座り テレビ体操や家族の話をしたり、時 にニュースの話題に興じるなどにぎや かな時間をお過ごしになられている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家 族と相談しながら、使い慣れたものや好 みのものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談し、馴染みの品物を 持ってきていただき、自分の家により近 い環境で、安心して過ごしてもらおう 工夫をしている。テレビや好きな本を観 たり、カレンダーの切り抜きや、今まで 塗った作品を居室に飾るなどして、レイ アウトを自由に、心地よく過ごされて いる。	本人や家族と相談し、馴染みの品物 を持ってきていただき、自分の家によ り近い環境で、安心して過ごしてもら うような工夫をしている。テレビや好き な本を観たり、カレンダーの切り抜き や、今まで塗った作品を居室に飾るな どして、レイアウトを自由に、心地よ く過ごされている。	火気等の危険物以外に持ち込 む品物の制限はない。利用者そ れぞれに馴染みのある物を持ち 込んでほしいと伝えている。ペッ ドとタンス、洗面台は備え付け である。室内の飾り付けは本人と 話をしながら意思を尊重してい る。職員が掃除をしていると手 伝う利用者もある。安心して居 心地よく過ごしてもらえるよう努 めている。一年分の衣類を保管 する方もいるが、殆どは季節毎 に家族へ連絡をし衣替えをお願い している。職員は、天気の良 い日には布団を干す手間も惜し まない。家庭と同じである。家族 が希望すれば居室での宿泊も 可能である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫し ている	本人の残された能力の見極め、必要に 応じて付き添いや手引き歩行を行 い、できるだけ混乱のないように工夫し ている。また廊下やトイレ・浴室には手すり を設置し安全かつ自立した生活が送れ るよう支援している。	本人の残された能力の見極め、必要 に応じて付き添いや手引き歩行を行 い、できるだけ混乱のないように工夫 している。また廊下やトイレ・浴室には 手すりを設置し安全かつ自立した生 活が送れるよう支援している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない